

## 報告 2

### 令和 6 年度公共交通に関する先進事例調査について

#### 1 目的

バス路線再編に関する取組および官民連携により実施している「エリア一括協定運行事業」についての意見交換および自動運転「レベル 4」を目指している自動運転バスの実証実験の現地視察を行うため実施したものである。

#### 2 日時および場所等

- (1) 令和 7 年 2 月 4 日（火）午後 1 時 3 0 分から午後 3 時まで  
群馬県前橋市内において自動運転バスの現地視察を実施
- (2) 令和 7 年 2 月 5 日（水）午前 9 時から午前 1 0 時 3 0 分まで  
松本市交通部公共交通課と意見交換

#### 3 派遣委員

- ・本協議会委員 2 名
- ・本協議会事務局 2 名

#### 4 調査等の結果

報告資料 2 参照

# 公共交通に関する先進事例調査結果について

秋田市地域公共交通協議会事務局



【松本城】

1

## 目的

バス路線再編に関する取組および官民連携により実施している「エリア一括協定運行事業」についての意見交換および自動運転バス実証実験の現地視察を行うため

## 日時および場所等

(1) 令和7年2月4日（火）午後1時30分から午後3時まで

群馬県前橋市内で自動運転バスの現地視察を実施

(2) 令和7年2月5日（水）午前9時から午前10時30分まで

松本市交通部公共交通課と意見交換

「エリア一括協定運行事業」について

# 調査結果

## 1. 松本市の取組について

## 2. 自動運転バスについて

3

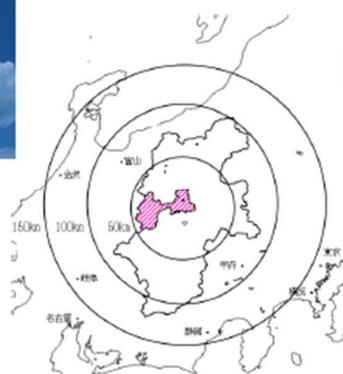
## 1. 松本市の取組について

### 1 はじめに 松本市の概要

#### ○ 地勢

本州と長野県のほぼ中央に位置

- 面積 978.47 km<sup>2</sup> (長野県内1位の広さ)
- 地理 松本盆地、槍ヶ岳・穂高連峰・美ヶ原
- 交通 J R (新宿2.5時間、名古屋2時間)  
信州まつもと空港<日本で一番空に近い空港>  
(札幌<新千歳>、丘珠<夏季のみ>、大阪<伊丹>※、神戸、福岡)  
※ 大阪<伊丹>は、8/1~8/31の期間限定



#### ○ 人口

- 人口 234,740 人 (R6.5.1現在)
- 世帯数 109,886 世帯 (R6.5.1現在)
- 高齢化率 28.2 % (R2.10.1現在)



国宝 松本城



国宝 旧開智学校



特別名勝/特別天然記念物 上高地

画像出典：松本市ホームページ (<https://www.city.matsumoto.nagano.jp/>)

4

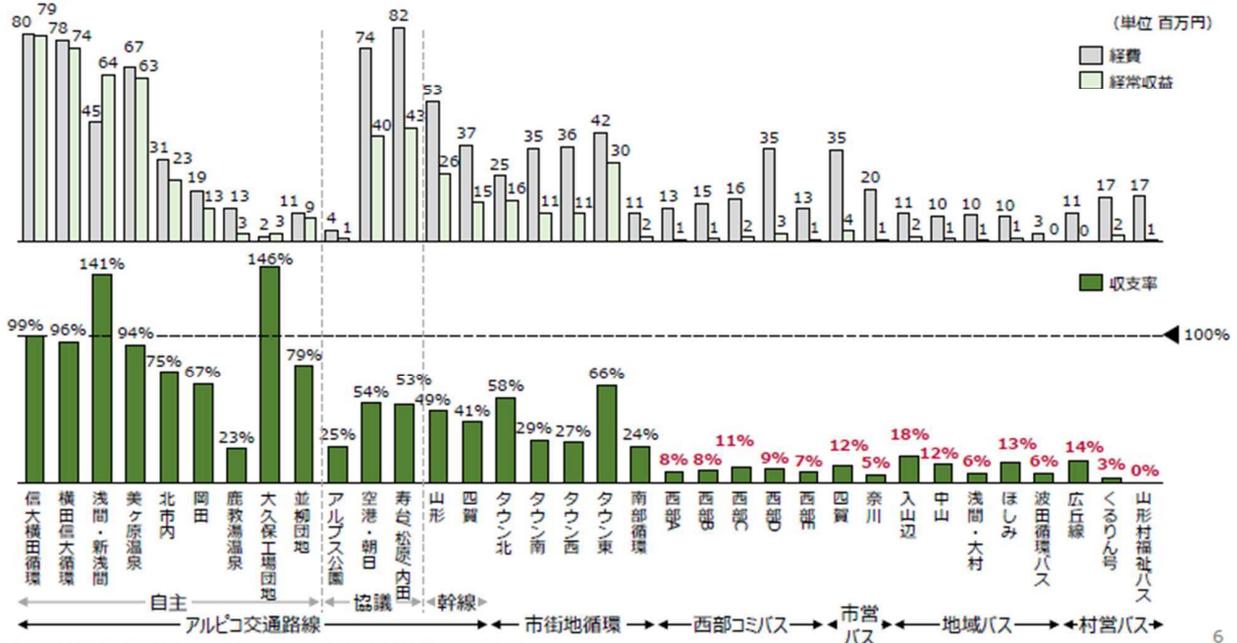


# 1. 松本市の取組について

## 1 はじめに 路線バスの現状

### ○ 路線別収支（R元年度・推計）現状と課題

- アルピコ交通の主要な自主路線の収支率は100%に近いが、西部コミバス・市営バス・地域バス・村営バスでは20%未満



※ 松本市福祉100円バス助成事業委託料および各協議会からの繰入金は経常収益に含めていない

松本市公共交通課提供資料より

6

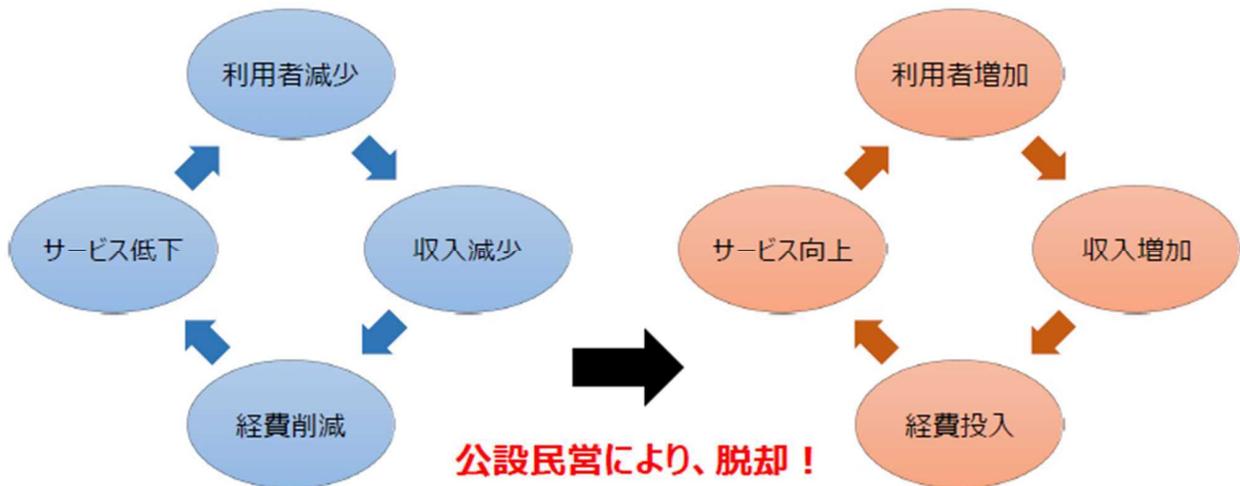
7

# 1. 松本市の取組について

## 2 公設民営バス (1) 路線再編の方向性

### ○ 公共交通が直面する<負のスパイラル>からの脱却を目指す

- 様々なアプローチにより、市民の声に耳を傾け、市民が利用しやすい公共交通を探る
- 市民の声を大切にすれば、持続的な利用者の増加を見込める
- 利用者の増加は、負のスパイラルから脱却が可能に



松本市公共交通課提供資料より

7

8

# 1. 松本市の取組について

## 2 公設民営バス (1) 路線再編の方向性

○ エリア一括協定運行までの道のり

### 現市長就任 (R2.3 ~)

- ・一人ひとりの移動する権利を保証し、切れ目なく先進的な交通インフラをデザイン
- ・路線バスを、市民の最も身近な足として位置づけ、将来にわたって路線網を維持、拡充

### 市民との対話 (R3.12 ~)

- ・路線再編の必要性について説明
- ・市民が利用しやすい路線について意見聴取

### 公設民営バス「ぐるっとまつもと」運行開始 (R5.4 ~)

- ・市が制度設計し、民間事業者が運営運行
- ・市が重要な3要素(ルート/運行本数(運行時間帯含む)/運賃水準)を設定

### エリア一括協定運行 (R5.10 ~)

- ・エリア全体を特定1者(アルピコ交通(株))と一括協定
- ・長期運行協定(5年間)

8

松本市公共交通課提供資料より

9

# 1. 松本市の取組について

## 1 路線バスの現状

○ 現状と課題

- ・地域交通の運営には行き詰まり感
- ・一方、過度な自家用車依存構造はそのまま

危機感

人口減少と高齢化によって問題が顕著化

◆ 地域公共交通活性化再生法 (H19~)

- ・市が主体的に関わり再編
- ・地域公共交通は単なる移動手段ではない「社会インフラ」である  
→ 地域の多様な輸送資源を活用 (R2)

○ 将来のイメージ (松本地域公共交通計画)



1

松本市公共交通課提供資料より

10

# 1. 松本市の取組について

## 2 公設民営バス (1) 路線再編の方向性

### ○ 現状と課題

- ・ 地域交通の運営には行き詰まり感
- ・ 一方、過度な自家用車依存構造はそのまま

危機感

人口減少と高齢化によって問題が顕著化

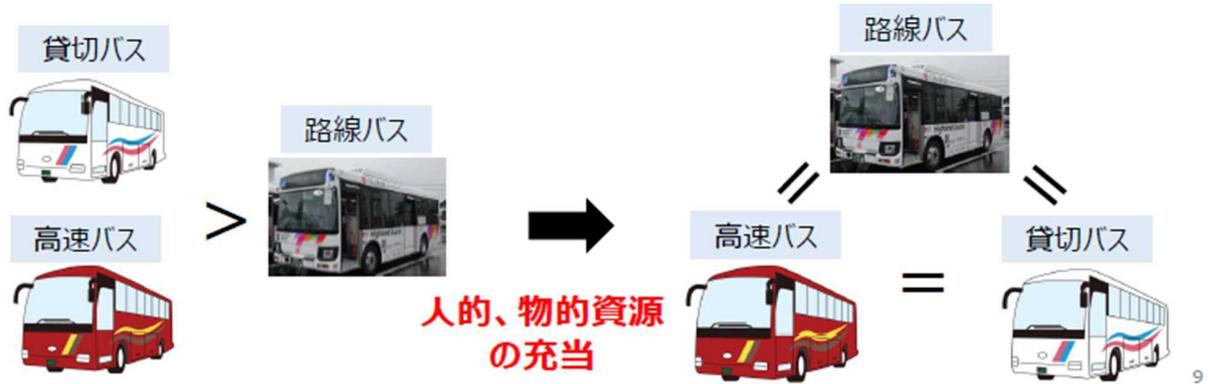
### ◆ 地域公共交通活性化再生法 (H19～)

- ・ 市が主体的に関わり再編
- ・ 地域公共交通は単なる移動手段ではない「社会インフラ」である

### ◆ 運行事業者の視点から

- ・ 観光バス・貸切バスに比べ、路線バスは収益低
- ・ 路線バス事業を縮小

- ・ 市が運行資金を担保
- ・ 路線バス事業への人的、物的資源の充当



松本市公共交通課提供資料より

# 1. 松本市の取組について

## 2 公設民営バス (1) 路線再編の方向性

### ○ バス再編 (R5.4) の主な内容

#### 1 エリア一括で市がマネジメント



- ◆ 複数の運行形態によるバラバラな運行
- ◆ 慢性的な赤字運営

- ◆ 運行形態の統一
- ◆ 慢性的な赤字状況を再構築

#### 2 ルート・便数を見直し

##### ● ルート

- ▶ 重複路線を統合
- ▶ 交通空白地域をできるだけ解消
- ▶ 利用状況や地元要望を反映し起終点やルートを変更

##### ● 便数

- ▶ 利用者が多い朝夕の通勤・通学時間帯の増便
- ▶ 利用者の少ない時間帯や路線の一部を減便

#### 3 バス停・路線名を統一

##### ● バス停デザイン

- ▶ ロゴマークと愛称を表示
- ▶ 親しみをもってもらえるバスを目指す

##### ● 路線名

- ▶ 行先や地域名を表した、わかりやすい路線名に統一  
例：西部地域コミュニティバスC線 → 梓川・波田線など



バス停のイメージ図

松本市公共交通課提供資料より

# 1. 松本市の取組について

## 2 公設民営バス (2) 運行体制

○ 定義：公設民営バス = 市が制度設計し、民間事業者が運営運行（R5.4～）

- 路線バスを「社会インフラ」と位置付け
- 市が、運行資金を担保し、重要な3要素（ルート／運行本数(運行時間帯含む)／運賃水準）を設定するなど、強く関与して市民の足を確保 <民間事業者経営からの転換>
- 複数年協定で路線バス事業運営の安定化を図り、将来にわたって持続可能な交通サービスを提供

○ 官民連携・エリア一括運行委託方式（R5.10～）

項目	新制度
対象範囲	エリア全体（特定1者と一括協定） • 一部の路線については、別事業者への外部委託を許容 ※ 外部委託の際は、市に選定経過を報告
協定期間	5年間 （車両等の設備投資や運転手の採用計画が立てやすいため）
車両の保有	運行事業者 （車両調達と整備費の最適化が可能のため）
インセンティブ	想定運行経費と想定運行収入をあらかじめ設定することで、運行事業者に「インセンティブ」と「リスク負担」を与える設計
官民の役割分担	①市 運行水準の設定（ルート・起終点、1日の運行本数及び運賃水準） ②運行事業者 運行、タイヤ・仕業の設定、車両調達・修繕・管理及び事故対応

11

松本市公共交通課提供資料より

13

# 1. 松本市の取組について

## 2 公設民営バス (2) 運行体制

○ インセンティブ設計

- 外部要因による収支変動は行政が補填し、収入変動リスクの一部を行政が負担することで、事業者の参入を促進

	公的負担額を変動させる項目 （=行政がリスクを負担し、事業者はリスクを回避）	公的負担額を変動させない項目 （=事業者が損失を被る/利潤を得る）
経常経費の変動要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 実車走行キロ又は運行日車数の変動               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 運行内容（タイヤ/ルート等）改定に伴う経費の変動</li> <li>- 運行実績（実車走行キロ、運行日車数）に基づく経費の変動</li> </ul> </li> <li>• 燃料単価の変動に伴う燃料油脂費の変動               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 県内の軽油単価に関する統計データを基に、負担金支払タイミングごとに金額を調整する</li> </ul> </li> <li>• 不可抗力事由による経費の増加               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 災害や税制変更等の不可抗力事由により経費の増加が生じた場合には、松本市と事業者で必要な行政補助・支援について協議するものとする</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 左記以外の要因による経費変動               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 事業者の自助努力による経費の増減については、基本的に全て事業者の損失/利潤とする</li> </ul> </li> </ul>
経常収入の変動要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 実車走行キロ又は運行日車数の変動               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 運行内容（タイヤ/ルート等）改定に伴う収入の変動</li> <li>- 運行実績（実車走行キロ）に基づく収入の変動</li> </ul> </li> <li>• 不可抗力事由による収益の減少               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 災害や疫病等の不可抗力事由により収益の減少が生じた場合には、松本市と事業者で必要な行政補助・支援について協議するものとする</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• -</li> </ul>
上記以外の要因による収入変動については、行政と事業者が公的負担率:事業者負担率の比率で負担する		

13

松本市公共交通課提供資料より

14

# 1. 松本市の取組について

## 2 公設民営バス (3) ルート・便数等

### ○ 地区等への説明

計55回の説明会を開催し、延べ1,011名が参加

【R3年度】

路線再編の必要性及び方向性について説明

・地区別説明会

開催日	地区名等	参加人数 (WEB含む)
R3.12.15	奈川地区	14名
R3.12.22	安曇地区	7名
R3.12.24	安原地区	11名
R4.1.14	城東地区	14名
R4.1.14	神林地区	7名
R4.1.21	芳川地区	8名
R4.2.2	梓川地区	22名
R4.2.3	今井地区	20名
R4.2.16	新村地区	14名
R4.2.18	白板地区	14名
R4.2.19	放光寺町会	17名
R4.2.24	笹賀地区	13名
R4.2.27	城北地区	11名
R4.3.9	新村地区	4名
R4.3.14	四賀地区	11名
R4.3.16	新村地区	14名
R4.3.22	和田地区	12名
計	17回	213名

・ブロック説明会

開催日	地区名等	参加人数 (WEB含む)
R3.11.5	南部ブロック	24名
R3.11.16	河西部ブロック	38名
R4.1.21	深志南ブロック	30名
R4.1.24	深志中ブロック	16名
R4.1.25	南部ブロック	30名
R4.1.26	西部ブロック	32名
R4.1.30	東山部ブロック	22名
R4.2.10	河西部ブロック	43名
計	8回	235名

・多事争論会

開催日	地区名等	参加人数 (WEB含む)
R4.3.5	多事争論会	81名

【R4年度】

ルート及び運行水準の  
具体案について説明

・地区別説明会

開催日	地区名等	参加人数 (WEB含む)
R4.6.14	芳川地区	9名
R4.6.15	島立地区	12名
R4.6.15	神林地区	6名
R4.6.16	田川地区	10名
R4.6.16	鎌田地区	16名
R4.6.16	松南地区	21名
R4.6.16	笹賀地区	16名
R4.6.16	今井地区	15名
R4.6.17	梓川地区	31名
R4.6.23	寿地区	18名
R4.7.14	島内地区	25名
R4.7.15	第三地区	12名
R4.7.15	城東地区	15名
R4.7.19	庄内地区	15名
R4.7.20	新村地区	13名
R4.7.21	梓川地区	20名
R4.9.15	寿地区	18名
R4.9.20	安曇地区	9名
R4.9.28	四賀地区	27名
R4.10.19	神林地区	8名
R4.10.19	奈川地区	18名
R4.10.20	今井地区	15名
計	22回	349名

運行予定のルート及びダイヤ  
について説明

・ブロック説明会

開催日	地区名等	参加人数 (WEB含む)
R5.3.9	深志南ブロック	16名
R5.3.14	深志北ブロック	13名
R5.3.16	東山部ブロック	16名
R5.3.27	河西部ブロック	17名
R5.3.28	南部ブロック	26名
R5.3.29	深志中ブロック	26名
R5.3.30	西部ブロック	19名
計	7回	133名

↓説明会の様子



### ○ 事業者等への説明

計8回の打合せの場にて、延べ23名に対し説明

民間企業：富士電機㈱労働組合松本支部、富士電機㈱、セイコエプソン㈱神林事業所  
教育機関：養護学校、梓川高校

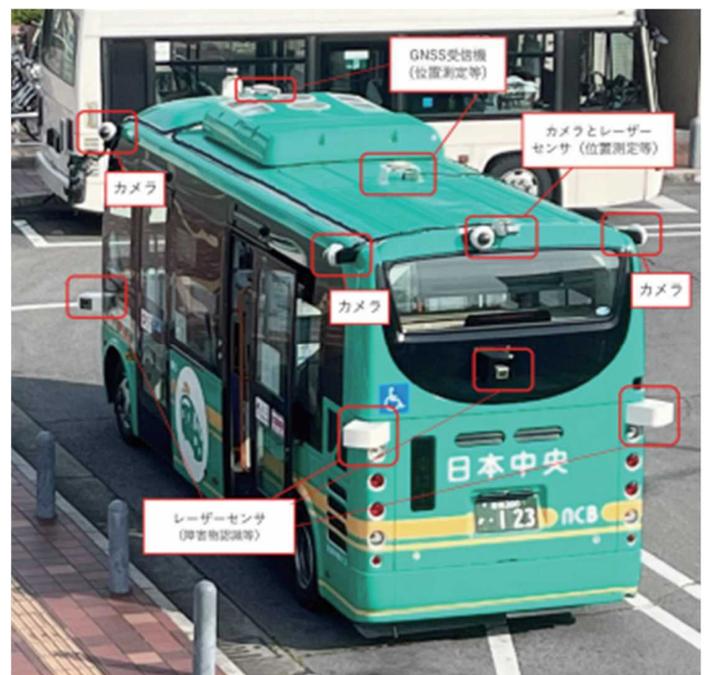
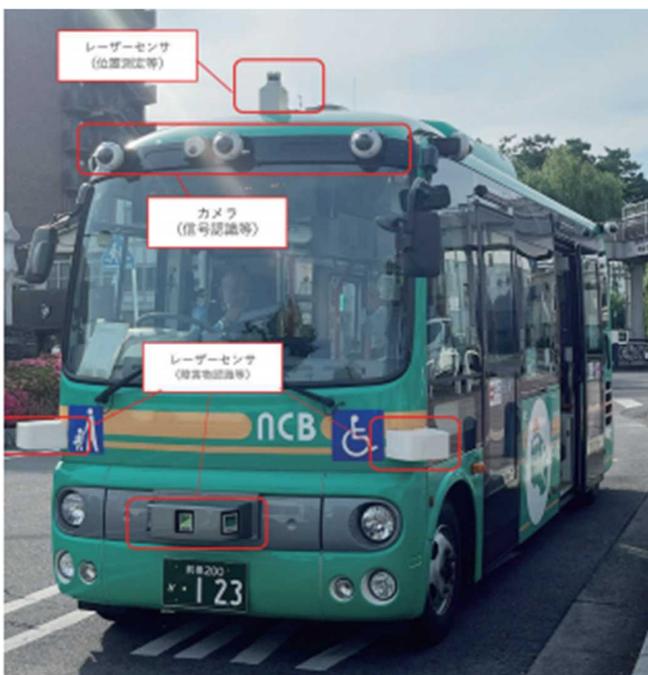
松本市公共交通課提供資料より

16

15

# 2. 自動運転バスについて

群馬県前橋市内において、平成30年度から実証実験を継続実施



## 2. 自動運転バスについて

